

具体的対応方針の再検証（案）

地域	病 院 名	H29. 7. 1						R7. 7. 1						(参考) コロナ 病床 R3. 12 現在	再検証の内容（H29. 7時点からR7までの対応）					病院側の考え 【病院プロフィールシートを参考に、病床（規模等）及び医療機能（主に再検証の観点）について記述】	県の考え （再検証の確認結果と求められる医療機能等） 【平成２８年度調整会議資料なども参考に整理】	
		合計	高度 急性 期	急性 期	回復 期	慢性 期	休棟 中	合計	高度 急性 期	急性 期	回復 期	慢性 期	休棟 中		再編、 統合	減床	転換	調整中	見直し なし			
青森	県立中央病院	679	564	115				679	564	115				23						○	病 床：再編・統合を検討 （病床規模未定） 医療機能：現在の医療機能を担う。（引き続き、県全域を対象とした急性期医療、専門医療、政策医療を提供）	・再検証として、「見直しなし」は妥当 ・県立の唯一の総合病院としての役割を引き続き担う
	青森市民病院	538	33	505				459	23	436				14						○	病 床：再編・統合を検討 （病床規模未定） 医療機能：現在の医療機能を担う（小児、周産期についても引き続き担う。）	・再検証として、「見直しなし」は妥当 ・救急医療への対応、回復期機能の充実・強化等について検討
	青森市立浪岡病院	92		50			42	35		35						急▲15					病 床：減床して病院を建替（Ｒ３．５月開業） 医療機能：現在の医療機能を担う（救急についても引き続き担う）	・再検証として、「減床」は妥当 ・在宅医療やコロナ対応を含め地域に必要な機能を担う
	平内中央病院	96			40	56		96			48	48					慢▲8→回				病 床：規模維持（転換） 医療機能：現在の医療機能を担う（近隣に救急病院がないことから、救急についても維持）	・再検証として、「転換」は妥当 ・更なる病床規模の見直し及び回復期機能への転換や、在宅医療、コロナ対応等について検討

注 黒字は実施済み又は実施中、赤字は今後実施

参考）高度急性期機能及び急性期機能の病床を有する民間病院

青森慈恵会病院（250床）、青森厚生病院（282床）、青森新都市病院（191床）、村上新町病院（78床）、浪打病院（69床）、あおもり協立病院（223床）